

あつまる つながる まとまる 大いなる田園のまち あつま



# 広報あつま

ATSUMA TOWN PUBLIC RELATIONS

2022

# 9

NO.841

いきものを  
たくさん見つけたよ!

特集

地域と紡ぐ防災力



## ひとのうごき

人口 4,422人 (+11)  
男 2,235人 女 2,187人

世帯数 2,151世帯 (+5)  
令和4年8月31日現在 ( )内は前月比

- 2 ひとのうごき
- 3-5 北海道胆振東部地震から4年
- 6-7 町からのお知らせ
- 8-9 国民年金
- 10-11 まちの話題
  - 12 花いっぱいフェスタ
  - 13 防災のページ
  - 14 厚高インフォノよりみち通信
  - 15 地域おこし協力隊
- 16-17 保健の掲示板
  - 18 健康情報
  - 19 野菜アッププロジェクト  
将来の夢
  - 20 子育て支援センター  
まちのアイドル  
こぶしの湯あつま
  - 21 情報ひろば
  - 22 ATSUMA LOVERS



# 地域と紡ぐ防災力



厚北地域防災コミュニティセンターならやま 改定されたハザードマップ

**北海道胆振東部地震から4年  
広がりを見せる防災力**

町は、厚北地域防災コミュニティセンターならやまの新設やハザードマップの改訂、再生可能エネルギーを活用した避難所への電源供給施設・設備の整備など、有事への備えを着実に進めています。町民の皆さんの理解と協力無くして、緊急時の安全確保は成り立ちませんので、住民説明会などを通じて、災害を「自分事」として意識してもらう取り組みもあわせて進めてきました。

町は8月7日、上厚真小学校をメイン会場に総合防災訓練を行いました。42世帯80人が参加し、強震時にその場で安全を確保するシエイクアウト訓練や指定避難所での段ボールベッドの設置、初期消火、応急処置、炊き出しなどを体験しました。胆振東部地震から4年。出口の見えないコロナ禍にあっても、地域と共に育む「防災力」は、厚真の地に確かな広がりを見えています。



約80人が参加した総合防災訓練

8月1日～8月31日届出分

※窓口などで、広報紙への掲載について確認できた方を掲載しています。

## 厚真町公式SNS



お知らせや最新情報を発信しています！

## 広報あつまはインターネットでも！



厚真町ホームページ  
トップページ下部のバナーから  
広報あつま

Hokkaido ebooks

エリアで探す→胆振→厚真町



## COVER

今月の表紙



「浜厚真イキモノブース2022」(しめっちネット主催)が8月27日と28日、浜厚真海浜公園で開かれました。上厚真小学校6年の館山太雪さんと厚真中央小学校2年の松山馳季くんは、採取されたカニやドジョウなどの水生昆虫に興味深げに観察しました。



参加者の声



上厚真自治会では、昨年11月にも上厚真小学校の3年生や保護者と一緒に地域の防災マップづくりをするなど、地域ぐるみで防災について知見を深めています。コロナ禍でお盆の時期でしたが、今回佐藤秋夫さん(上厚真)の訓練には37人が参加しました。上厚真地区での実働訓練は、久しぶりでしたが非常に参考になりました。過去に厚真川の氾濫を経験した人も多く、防災意識は高いです。私は、日ごろから自治会の集まりで緊急時は「まず自助が大切です」と話しています。自分や家族の安全を確保し、若い人には可能であれば「隣近所の高齢者も頼むぞ」とお願いしています。今後も、日ごろからの人付き合いを大切に、皆さんと一緒に地域防災力を高めたいと思いました。

参加者アンケート(主な意見)

- ◇良かった点
  - ・多くの方が参加していて防災に意識があると感じた。続けてほしい。
  - ・避難所の設営と講話のセットが、実際に災害が起こった時に十分に役立つと思った。
  - ・住民がどう関わるのか連携すべき課題がみえた。
- ◇改善・要望点
  - ・各地区の人数が少なく残念です。もっと、広範囲に呼びかけては。
  - ・自分たちでできることをもっと知りたい。
  - ・どこへ行ったら良いのか分かりづらかった。

北海道胆振東部地震から4年を迎えるにあたり

厚真町長 宮坂尚市朗

北海道胆振東部地震から4年。最愛のご家族やご親戚、ご友人を失われた方々のお気持ちを思うと、今なお哀悼の念に堪えず全ての御霊に謹んで哀悼の誠を捧げます。今でも信じがたい光景が目に浮かびます。捜索に一縷の望みを託す家族や友人の祈り、避難されてきた町民の不安げな表情を決して忘れません。一方で、自分より他者を気に掛ける町民の姿に、生きる者としての使命感や共に歩む者の信頼が芽生え、復旧事業を加速させました。

国や北海道、厚真町施行のインフラ復旧事業は、町民のご理解とご協力をいただいた結果による達成状況と感謝します。すでに復興への取り組みにも挑戦を始めています。庁舎周辺整備や防災減災対策、省・創エネルギーなどゼロ・カーボン推進、一次産業中心のグリーン×グリーン×デジタル政策を構想し、発災当時の「悲しいまちでは終わらない」から現在は「決して諦めないまち」へと深化を遂げています。

町民が抱える不安、悩みは短期間では癒されません。明日への不安を軽減し、被災者に寄り添い誰一人も取り残さない復旧・復興を目指してためめ努力を続けます。これまで、災害復旧事業・捜索活動にご尽力いただいた関係機関やボランティアなど全ての皆様に心より感謝申し上げます。

主なできごと(令和3年9月～)

- 令和3年
  - 9月5日(日) 慰霊碑除幕式(京町・つたえり公園)
  - 10月14日(木) 北海道胆振東部地震厚真町追悼式
  - 11月3日(水) 正午のサイレンに合わせて黙とう
  - 11月14日(木) 第1回厚真にぎわい会議(令和4年1月まで全4回開催)
  - 11月3日(水) 厚真町文化祭(4日、展示のみ)
  - 8日(月) 上厚真小学校3年生が防災マップづくり
  - 13日(土) 公益財団法人イオン環境財団が吉野地区で桜を植樹
  - 19日(金) 厚真中学校で防災授業
  - 24日(水) 被災3町のオンライン座談会(胆振総合振興局主催)
  - 12月24日(金) 厚真地域防災コミュニティセンターならやま完成
- 令和4年
  - 1月9日(日) 第74回厚真町成人式
  - 3月29日(火) 少額短期保険ハウスガードと町が森林再生に向けた連携協定締結
  - 7月30日(土) 第50回あつま田舎まつり3年ぶり開催(31日(日))
  - 9月3日(土) 北海道胆振東部地震厚真町追悼式
  - 9月6日(火) 正午のサイレンに合わせて黙とう



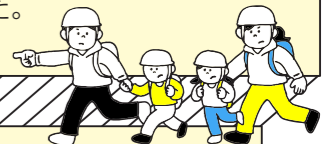
総合防災訓練 8月7日 上厚真小学校

日高沖で震度6強の地震を観測し、大津波警報が発令された想定で訓練を行いました。その場で身の安全を守るシェイクアウト訓練、避難所開設等訓練、個別訓練を実施しました。



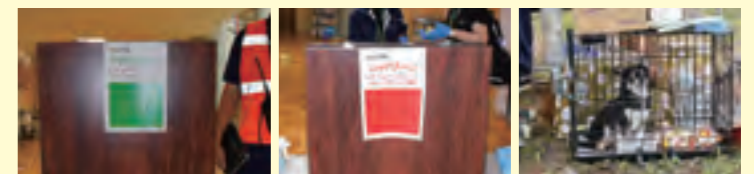
1 避難開始

大津波警報発令後、地域住民の避難が始まりました。訓練の参加者は、指定避難所の上厚真小学校に直接避難したり、厚南会館から受付で検温やアルコール消毒を済ませて小型マイクロバスで同校に移動しました。予備のマスクや貴重品などを詰めたリュックサックを背負った参加者も目立ちました。



2 避難所等開設

上厚真小学校の体育館や小体育館には、未開封の段ボールベッド資材やプライベートテント、簡易トイレキットなどが搬入されました。また、新型コロナウイルス感染症の発生も想定して、校内に「グリーンゾーン」と完全防備以外の立ち入りを禁止する「レッドゾーン」を設けるなど、感染症対策が徹底されました。校庭には、避難所内に入室できないペットのための救護所も設けられました。

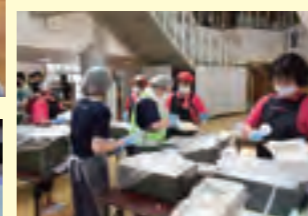


3 個別訓練

参加者は、搬入された資材を開封して段ボールベッドおよび感染症対策のパーティションの組み立て、簡易トイレ、プライベートテントを設営し、組み立てた段ボールベッドに横になって強度を体感しました。

また、町がこれまで撮影した胆振東部地震関連の写真や資料も展示されました。屋外では陸上自衛隊第7特科連隊第1特科大隊が炊事車両を使って300食分のカレーを調理。商工会女性部らが手作りデザートを添えて1食分ずつパック詰めし、参加者に配給しました。

また、訓練では防災講話も開催。室蘭地方気象台火山防災官の川橋和弘さんが「日本海溝・千島海溝添いの巨大地震・津波への備え」と題して講演。地震や津波の発生の仕組みや厚真町の防災などについて説明しました。





## 通院交通費の助成

住民課 福祉グループ ☎ 26-7872  
(総合ケアセンターゆくり内)

心身障がいや指定難病および肝炎患者の治療などに要する交通費を助成します。

<b>対象者</b>	<b>助成内容</b>
町内に住所があり、かつ居住されている方(生活保護受給者を除く)で、以下の①～③に該当する方	町外医療機関の通院に要する交通費
①在宅精神障がい回復者 ・精神障害者保健福祉手帳を所持している方	<b>通院期間</b> 令和4年4月分～9月分まで
②腎臓機能障がい者(人工透析)・指定難病・肝炎患者 ・人工透析を受けている方で、町の送迎バスを利用していない方 ・特定医療費(指定難病)受給者証をお持ちの方 ・ウイルス性肝炎進行防止対策医療受給者証をお持ちの方	<b>申請書類</b> ①通院交通費助成金交付申請書 ②通院証明(医療機関で証明印をもらう) ③身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳、特定医療費(指定難病)受給者証、ウイルス性肝炎進行防止対策医療受給者証のいずれかの写し ※①②は住民課福祉グループまたは上厚真支所にあります。
③重度心身障がい児等 ・18歳未満の重度の障がい児のうち、身体障害者手帳1～2級(内部障がいは3級まで)所持者 ・療育手帳所持者でA判定またはB判定でIQ50以下の児童 ・精神障害者保健福祉手帳1級を所持する児童 ※保護者等の介護者1人についても対象となります。	<b>申請期限</b> 10月7日(金)
	<b>受付窓口</b> 住民課福祉グループまたは上厚真支所

## 運転免許返納臨時窓口を開設

苫小牧警察署交通一課企画係 ☎ 0144-35-0110 (内線413)

運転免許証の自主返納を考えている人を対象にした、免許返納の臨時窓口を開設します。

<b>日時</b>	<b>運転経歴証明書の申請</b>
10月12日(水) 13時～15時	免許証を自主返納した人は運転経歴証明書の申請も可能です。 ・顔写真(6カ月以内に撮影したもの、縦3cm×横2.4cm) ・北海道収入証紙1,100円(交付手数料、JA厚真支所で購入可能)
<b>場所</b>	<b>申し込み</b>
厚真駐在所(京町31番地)	完全予約制のため前日までに苫小牧警察署に電話で予約をお願いします。 なお、運転免許証返納後は車の運転ができませんのでご注意ください。
<b>持ち物</b>	
運転免許証	

## 厚真町敬老会の中止

住民課 福祉グループ ☎ 26-7872  
(総合ケアセンターゆくり内)

今年度の厚真町敬老会は中止します。

毎年9月に実施していた厚真町敬老会は、道内にまん延している新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、今年度も開催を中止します。

## 農地中間管理機構による 農地の借受希望者(受け手)募集

公益財団法人北海道農業公社 日胆支所業務農地課 ☎ 0144-32-8171  
町農業委員会事務局 ☎ 27-2409

農地中間管理機構である公益財団法人北海道農業公社では、農地を借りたい人(受け手)を募集しています。

<b>募集期間</b>	<b>有効期限</b>
年2～3回(5月と9月のほか不定期実施) ※募集は決められた期間のみです。地域農業の担い手、経営規模の拡大や分散(ちりぢり)の解消を希望する場合は、借受希望の申請をしてください。 ※この申請により農地の借受が決定するわけではありません。	申請の有効期限は5年間です。以下の場合はご注意ください。 ・平成29年度に申請…5年間の有効期限が切れます。引き続き借受を希望する場合は手続きをしてください。 ・平成28年度以前に申請…既に有効期限が切れています。借受を希望する場合は手続きをしてください。
<b>受付期間</b>	
9月30日(金)まで	

## 令和4年就業構造基本調査

まちづくり推進課 企画調整グループ ☎ 27-3179

10月1日を基準日として、就業構造基本調査を実施します。

<b>調査概要</b>	<b>調査方法</b>
日本の就業・不就業の実態を明らかにすることが目的で、統計法に基づく基幹統計調査として国が実施する重要な統計調査です。調査の趣旨をご理解いただき、ご回答をお願いします。	調査をお願いする世帯には、9月下旬に調査員が伺って調査書類を配布します。
<b>調査対象</b>	●より便利にご回答いただくため、パソコンやスマートフォンを使って、インターネットで簡単に回答することができます。
全国の約54万世帯に普段住んでいる15歳以上の世帯員約108万人(統計理論に基づき無作為に抽出)	

## 敬老会に係る補助金交付

住民課 福祉グループ ☎ 26-7872  
(総合ケアセンターゆくり内)

自治会・老人クラブで独自に敬老会などを実施する場合、実施経費に対して補助金を交付します。

<b>対象団体</b>	<b>申請書類</b>
敬老を祝う事業を実施する自治会、老人クラブ	・補助金等交付申請書 ・事業計画 ・収支予算書 ・参加者名簿
<b>補助対象経費</b>	<b>申請期間</b>
敬老を祝う事業に要した経費	11月30日(水)まで
<b>補助額</b>	
1人につき3,000円 ※満79歳(数え年80歳以上)となる町内在住の高齢者(昭和18年12月31日以前生まれの方)を補助対象とします。 ※1人につき1回の補助	

# 国民年金

国民年金は、20歳以上の国民みんなが加入する大切な制度です。一人でも多くの方に国民年金について理解していただけるよう、年4回に分けて、しくみなどを紹介します。



## ねんきんネットで国民年金記録の確認や追納等が可能な月数と金額の確認ができます

ねんきんネットは、ご自身の年金情報を手軽に確認できるサービスです。

### 国民年金加入記録の確認

最新の国民年金保険料の納付状況などが確認できるので、納め忘れがないか確かめることができます。

### さまざまな条件に応じた年金見込額の試算

将来受け取る年金額の見込みはもちろん、追納等が可能な金額を納付した場合の試算もでき、どれだけ年金額が増えるかを実感できます。

### 追納等可能月数と金額の確認

国民年金保険料の免除や納付猶予の承認を受けた期間について、追納や納付が可能な月数と金額を確認できます。

### その他の便利機能

- ・ 社会保険料（国民年金保険料）控除証明書等の原本の再交付申請
- ・ 国民年金保険料免除・納付猶予申請書等の届出の簡単作成
- ・ 電子版の「ねんきん定期便」や「被保険者記録照会回答票」の確認やダウンロード

### ねんきんネットの利用対象者▽基礎年金番号をお持ちの方

※昭和61年4月以前に年金受給権が発生した老齢年金受給者の方は利用できません。

## マイナポータルとねんきんネットの連携でさらに便利に

マイナポータルは、政府が運営するオンラインサービスです。マイナポータルとねんきんネットを連携すると、年金記録・見込額を確認したり、手続きのお知らせなどを受け取ることができます。また、マイナポータルにログインすることで、ねんきんネットにも簡単にログインできます。

子申請も可能で、国民年金第1号被保険者加入の届出、国民年金保険料免除・納付猶予の申請、国民年金保険料学生納付特例の申請が可能です。スマートフォンからいつでも申請ができるので、窓口に向く必要はなく、来庁する時間がない方にもおすすめです。処理状況や審査結果も確認することができます。



マイナポータル  
年金に関する情報の確認と申請について



### マイナポータルとねんきんネットの連携方法

- ①マイナンバーカードを利用して、マイナポータルにログインします。
- ②マイナポータルのトップページで「年金記録・見込額を見る(ねんきんネット)」ボタンをクリックします。
- ③表示される「ねんきんネット」の利用規約等に同意いただくと、連携手続きが開始されます。
- ④連携手続きが完了すると「ねんきんネット」が表示されます。(連携完了後は、「年金記録・見込額を見る(ねんきんネット)」ボタンをクリックするだけで、「ねんきんネット」を利用できます)
- ⑤最後にメールアドレスを登録すると利用開始となります。

※マイナポータルの利用には利用登録が必要です。パソコンで登録する場合、マイナンバーカード情報を読み取るカードリーダーが必用です。スマートフォンから登録する場合は専用アプリのダウンロードが必要です。  
 ※マイナポータルとねんきんネットを連携する場合の初回利用登録の時間帯は、平日8時から23時までです。時間帯によっては、つながるまでにお時間をいただく場合があります。  
 ※基礎年金番号をお持ちでない方など、ご利用いただけない場合があります。

令和4年度の国民年金保険料  
月額16,590円

納付は口座振替が便利です。また、前納すると割引があります。詳しくは、住民課町民生活グループ（総合ケアセンターゆくり内）まで。

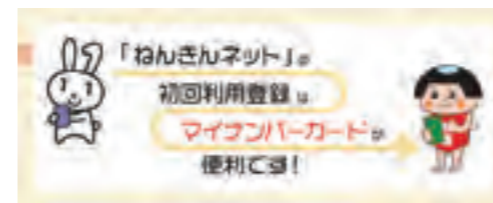
### 相談・問い合わせ

ねんきん加入者ダイヤル ☎0570-003-004  
 受付時間 月曜～金曜日 8時30分～19時 第2土曜日 9時～16時  
 ※祝日（第2土曜日を除く）、12月29日～1月3日は利用できません。  
 住民課 町民生活グループ（総合ケアセンターゆくり内） ☎26-7871  
 日本年金機構苫小牧年金事務所 ☎0144-36-6135

### ねんきんネットの利用登録方法

登録には、次の2つの方法があります。

#### 1 マイナンバーカードをお持ちの方：マイナポータルと連携する



マイナポータルからねんきんネットにログインすることができます。

その他にも、電子申請などの便利な機能が利用できるようになるので、ぜひマイナポータルとねんきんネットを連携してご利用ください！

パソコンもしくはスマートフォンからマイナポータルにログインして、「年金記録・見込額を見る(ねんきんネット)」から、ねんきんネットへの連携手続きを行ってください。  
 ※マイナポータルの利用登録には、マイナンバーカードと受け取り時に設定した数字4桁の暗証番号（利用者証明用電子証明書暗証番号）が必要です。

#### 2 マイナンバーカードをお持ちでない方：ユーザーIDを取得する

ユーザーIDの取得には、基礎年金番号、メールアドレスが必要です。登録時に年金手帳や年金証書など、基礎年金番号が確認できるものをご用意の上、登録申請を行ってください。  
 ※基礎年金番号は、日本年金機構からお送りしている通知書等に記載されている10ケタの番号です。





摘みたてイチゴに笑顔のこども園つみきの園児と農業支援員

### 担い手研修農場が摘みたてイチゴをこども園2園に贈る

新規就農を目指す地域おこし協力隊の農業支援員8人が7月28日、宮の森こども園とこども園つみきに摘みたてのイチゴを届けました。翌日、両園でイチゴジャムに加工され園児に振る舞われました。

イチゴは、程よい酸味の「すずあかね」。宮の森こども園に2kg、こども園つみきに3kg届けました。園児たちは、甘い香りに鼻をくすぐられて「おいしそう」「早く食べたい」と大はしゃぎ。給食でパンに塗って、きれいに平らげました。

### 上厚真地区で「あつまル市」開催

上厚真在住の村上朋子さんらが中心となり、地域のつながりで震災の復興を紡ぐ目的で昨年発足した「あつま元気クラブ」は7月31日、上厚真市街地で「あつまル市」を開き、来場者との交流に華を咲かせました。

地元をはじめむかわ町や恵庭市、白老町、安平町の協力者がテントを建てて、手作りのアクセサリや新鮮な野菜などを販売しました。

また、震災直後からボランティア活動をしている苫小牧市在住の松村直幸さんは、動画を撮影して全国の仲間にイベントの様子を発信しました。



採れたての野菜などを買い求める来場者



食中毒の予防を喚起する関係者たち

### 食品衛生強調月間で食中毒予防を喚起

食品衛生強化月間（8月31日まで）にちなみ、苫小牧保健所や苫小牧地方食品衛生協会の関係者4人が8月1日、宮坂町長に食中毒の未然防止を呼びかけました。

来訪者は、同保健所生活衛生課の橋本潤子課長、同協会の福原裕会長、同協会厚真支部の下司義之支部長、同支部事務局の小寺せい子さん。宮坂町長は「あつま田舎まつりも無事に終了しました。食中毒を起こさないよう慎重に対応します」と語りました。

### 低気圧による大雨で町内に影響

発達した低気圧に伴う大雨の影響で、町内は8月15日夜から大雨に見舞われ、翌朝6時8分には洪水警報が発表されました。町内全域で河川が増水して一部で氾濫。また、流出土砂が道路をふさぐなどの影響があり、町は17日7時まで厚真町災害対策本部を設置し警戒を続けました。

人的被害などの影響はありませんでしたが、高丘地区と本郷地区の一部で避難指示を発令し、避難所を開設。このうち、高丘地区の住民7世帯12人が厚北地域防災コミュニティセンターならやまで一夜を過ごしました。また、複数箇所道路の冠水や林道被害、農業被害が確認されており、町では復旧への対応を続けています。



水かさが増した宇隆地区のウクル川

### 厚南中学校教諭の山本有紗さん 青年海外協力隊でパラオ共和国に派遣



出発あいさつに訪れた山本有紗さん

厚南中学校の英語科教諭の山本有紗さんが、独立行政法人国際協力機構（JICA）の青年海外協力隊員（現職教員特別参加制度）としてパラオ共和国への派遣が決まり、宮坂町長と遠藤教育長に7月21日、出発のあいさつをしました。

富良野市出身で、海外での活動も夢の一つでした。大学時代に取得した保健体育の教員免許を生かし、日本の小・中学校にあたる現地の学校で、体育指導やカリキュラムの改善などに取り組みます。滞在期間は1年7カ月。

山本さんは「厚南中学校に赴任させていただき1年になります。ふるさと教育で学んだことをパラオでも生かしたい。コミュニケーションを取り、帰国後は町や北海道に還元したいと思います」と抱負を語りました。宮坂町長は「仕事にとどまらず、人の輪を広げて欲しい」と話し、遠藤教育長は「子どもたちの夢や目標になるよう、活躍を期待しています」と激励しました。

道内初の日本サーフィン連盟（NSA）公認大会「厚真町長杯」が7月24日に浜厚真海浜公園で開かれ、全国から集まった約80人のサーファーが、恵まれた天候のもとで熱戦を展開しました。

会場では、競技歴を問わずに楽しめるサーフィン大会と、地元の農家や飲食店によるマルシェ、けん玉やスケートボードの体験コーナーなどを融合したイベント「meet up ATSUMA（ミートアップ厚真）」（実行委主催）も同時開催され、浜辺は道内外から訪れた大勢のサーファーや観客でにぎわいました。

宮坂町長は「豊かな自然が残る浜厚真の海岸は、厚真町の自慢です。大会やイベントを通じて、厚真のファンになっていただきたい」と、来場者に呼び掛けました。

### 浜厚真海浜公園でサーフィン大会 「厚真町長杯」と「meet up ATSUMA」



厚真町長杯メン・マスタークラス優勝の松倉円選手



全国から強豪チームが出場した北の大地ユースサッカー大会

### 浜厚真野原公園サッカー場で「北の大地ユースサッカー大会」

道内外の高校サッカー強豪校やクラブチームなどによる「第1回北の大地ユースサッカー大会」（実行委主催）が、7月25日から浜厚真野原公園サッカー場で開かれ、ハイレベルな戦いを繰り広げました。

大会は、U-16・U-18男子と、U-18女子の3部門で行われ、36チームが出場しました。

選手たちは、管理が行き届いた緑色のピッチで、巧みなドリブルや流れるようなパスを繰り出してゴールを狙いました。



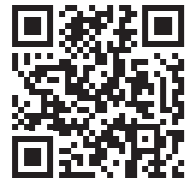


# 防災のページ

## 防災気象情報の活用について

問い合わせ 総務課 防災グループ ☎27-2481

### 「あなたの街の防災情報」



気象庁のホームページがリニューアルされ、「あなたの街の防災情報」で市町村ごとに最新の防災情報を公開しています。自分が必要とするさまざまなコンテンツを防災情報にカスタマイズ（設定変更）することで、一つのページで大雨危険度や警報・注意報など複数の情報が閲覧できます。

台風や大雨の際に、自ら積極的に最新の情報を入手して、避難や防災対策に役立てましょう。



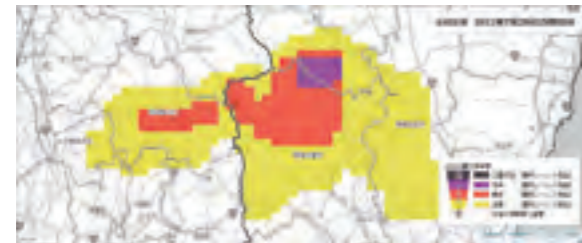
### 【主要なコンテンツ】

- ・天気予報
- ・気象台からのコメント
- ・早期注意情報
- ・台風情報
- ・雨雲の動き
- ・警報・注意報
- ・アメダス
- ・降り始めからの総雨量
- ・大雨危険度
- ・土砂キキクル
- ・洪水キキクル
- ・浸水キキクル
- ・発表中の防災情報
- ・気象情報
- ・地震情報
- ・津波
- ・噴火警報・予報
- ・今後の雪 など

### 「キキクル」 大雨・洪水警報の危険度分布



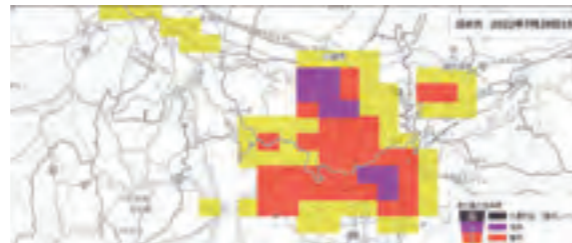
「キキクル」とは、大雨警報、洪水警報、記録的短時間大雨情報等が発表されたとき、あるいは、雨が強まったときなどに、土砂災害、低地の浸水、中小河川の増水・氾濫といった災害発生の危険度が高まっている場所を5段階に色分け表示した地図で危険度が確認できるサービスです。



土砂キキクル  
1km四方ごと2時間先までを予測



洪水キキクル  
流域雨量指数の実況値とあわせて3時間先までを予測



浸水キキクル  
1km四方ごと1時間先までを予測

「キキクル」は10分ごとに更新されます。スマートフォンで手軽に確認できます！

# 花いっぱいフェスタ

色鮮やかに彩られています

花いっぱいフェスタ(旧花いっぱいコンクール)を開催しました。参加いただいた個人・団体の作品を紹介します。皆さんもぜひ、ご自宅の庭などを、花や緑で奇麗に飾ってみてください。個人の部にご参加いただいた皆さんには、花の商品券を進呈します。

厚真町コミュニティ運動推進協議会事務局  
(まちづくり推進課企画調整グループ☎27-3179)

## 個人の部



宇隆



新町



新町



豊沢



豊沢



表町



軽舞



錦町



鹿沼

## 団体の部



厚和



富野



富野



新町



朝日



本郷



東和



表町



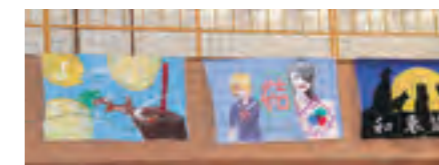
鹿沼





## ▼第42回厚高祭特集

7月14日、15日の2日間で第42回厚高祭が開催されました。今年の学校祭テーマは「Passion」燃え上げ、年に一度の厚高祭です。生徒会の生徒が中心となり、企画・運営しました。新型コロナウイルス感染症の防止対策のため、一般公開は保護者2人までに限定しました。

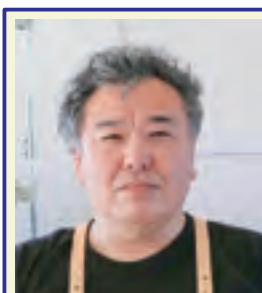
クラスパフォーマンス  
(上から1年生、2年生、3年生)

考案したクラス旗



恒例のジンギスカン昼食

また、初日の昼食は、こぶしの湯あつま前広場にできたバーベキューハウスで、恒例の「あつまジンギスカン」に舌鼓を打ちました。今年も、コロナ禍で制約がある中での実施でしたが、創意工夫しながら取り組んだことは、生徒たちの記憶に残ります。

起業型地域おこし協力隊  
なかじま よういち  
中島 洋一さん着任：令和4年4月  
出身：標津町

## —これまでの経歴について教えてください。

車のディーラーや機械修理会社で、修理や部品交換の仕事をしていました。手作業で物を作ったり直すことが好きで、ものづくりについて学ぶため、37歳で北見高等技術専門学院の造形デザイン科に入学しました。その後、入社した家具会社では、介護施設で使用するイスの座面や背もたれを張る作業を担当しました。

## —厚真町に来てどんなことをしていますか？

日々の暮らしの中で使える道具を製品として作っています。今後、各地で開催される展示会や来年のクラフト展にむけて、北海道に生息する動物をモチーフにした手彫り作品の製作もしています。

## —動物をモチーフに選んだのはなぜですか？

木彫りの熊を見た時、動物作品って面白いなと思いま

した。流通しているものは、荒々しく、自分が思う可愛いデザインの商品にしたいなと思って彫ったのが最初です。動物を忠実に再現するだけでは面白くないので、頭の中に湧いてきたイメージを作品に落とし込むようにしています。

## —木工の世界に入ったきっかけを教えてください。

私の身の回りには木を素材とした製品が多く、木の触りやぬくもりが好きで長く使っています。20世紀を代表するデンマークの世界的な家具デザイナーのハンス・J・ウェグナーが作ったイスがかっこよくて、そんなイスが作れたらいいなと思い木工作家を目指しました。

## —厚真町に移住しようと思った理由を教えてください。

林業を後押ししている活動があり、志高く活動する人がいて魅力的だからです。木工作家として、製作するには良い材木を仕入れることが大切です。理想とする材木を入手することは難しいですが、地域の人たちとの関係を息長く広げていき、厚真町の木で作品作りを進めていきたいです。

## —今後の目標は何ですか？

木工作家として生活ができるように自立することです。規模の大きな展示会に積極的に出展することで、販売ルートを開拓し、広げていきたいです。

## 現在活動している協力隊〈8月末現在〉

農業支援員▷9人 教育魅力化支援員▷3人  
起業型▷6人 協働型▷15人

## 地域おこし協力隊

厚真町で活動している地域おこし協力隊をご紹介します！

農業支援員  
まるやま りょうた  
丸山 亮太さん着任：令和4年4月  
出身：苫小牧市

## —これまでの経歴について教えてください。

立命館大学を卒業後、日本製紙株式会に入社し、アイスホッケー部に所属していました。工場洋紙やコート紙を製造するマシンのオペレーター業務を担当し、夜勤も日勤もある交代制の勤務体系で働いていました。

## —農家になろうと思ったきっかけを教えてください。

工場勤務では、時間的に不規則な生活を送っていました。太陽の光を浴びることが少なく、体内時計が狂ってしまった感覚があり、太陽の下で体を動かす仕事をしながら健康的な生活がしたいと思うようになりました。

幼少期に厚真町で過ごしていたころに見た、周囲の人たちが家庭菜園や農業をやっていた景色を思い出し、農業への意欲が沸いたことがきっかけです。情報収集をしていた時、厚真町が地域おこし協力隊の農業支援員を募集していることを知り応募しました。

## —厚真町ではどのようなことをしていますか？

町の研修農場では、ほうれん草やイチゴのハウス栽培、カボチャの露地栽培などを通して農業を学んでいます。先輩の研修生に同行して、地域の農家さんのところへ行き、米の種まきや農作物の収穫、草刈りなどを手伝っています。

## —厚真町の印象を教えてください。

海も山も川もあって、自然が豊かで空港も近くてすごくいい場所だと思います。町内の人々の顔と名前が一致するほど、人と人の距離が近い関係性が印象的です。地域内での情報の伝達速度が速く、ネットワークの強さを感じています。

## —3年後はどうなっていたらいいですか？

どんな農家になりたいかは、まだ模索中です。農作物はほうれん草、イチゴをメインに生産したいと思っています。農家さんでの研修の中で、第三者継承という制度があることを知り、興味を持ちました。厚真町の農業も高齢化が進んでいて、課題の一つに後継者問題があります。第三者継承は、信頼関係が重要なので地域に貢献しながら信頼を築いていきたいと考えています。地域の農業を継承し、持続できるようにしっかりと学んで準備を進めていきます。

## よりみち通信



「よりみち学舎」は、厚真高校と地域が連携しながら放課後を利用して生徒が自ら目標を発見し、挑戦する公営塾です。

## スマホの外的世界

「スマホのゲームに飽きました」。ある日のよりみち学舎で一年生の男子生徒がつぶやいた一言です。

SNSの投稿を見たり、ゲームをしたり…空き時間にスマホを使用する生徒は数多くいます。流行りのゲームに熱中する姿に、よく飽きないものだと思っていた矢先、冒頭の一言が聞こえてきたのです。

高校生の心境をもう少し掘り下げてみようと思っていると「実は私も…」という声がかたかたに上がりました。さらに尋ねてみると「生徒会長になりたい」「イラストが描けるようになりたい」「自動車会社に就職したい」などさまざまな想いを語ってくれました。

よりみち学舎では、生徒たちのインスピレーションが湧くようにと、町内の農家さんを訪ねてお手伝いをしたり、イベントに運営者側として参加したり、初めて会う大人と対話したりするなど「実物を見る」「直接体験する」ことに取り組み始めています。

スマホの外に目を向け、普段の学校生活や日常ではできないような経験を積み重ねていく中で、自分の枠組みを広げ、本当にやりたいことに会い、それをかなえていってほしいと願っています。 教育魅力化支援員 川嶋 圭




あつま田舎まつりでの一コマ





## こどもの予防接種

接種日	未就学児	水曜日	14時～15時(この時間は一般診療休み)	予防接種専用サイト 
	小学生～19歳	月・金曜日	9時～12時、14時～17時	
予約/受付接種場所	あつまクリニック ☎27-2422 京町15 前の週の金曜日までに予約が必要です(予約受付時間:9時～12時、15時～17時)			
持ち物	母子健康手帳、予診票			

予約時は、予防接種専用サイトで接種対象であるかどうかを確認してください。専用サイトと母子手帳の接種履歴に相違がある場合などは、住民課健康推進グループ(保健師)までご連絡ください。

	対象者	標準的な接種期間と回数
ロタウイルス(1価)	生後6～24週未満	27日以上あけて2回 ※1回目は14週6日までに接種
B型肝炎	生後2カ月～1歳未満	(初回)27日以上あけて2回 (追加)1回目終了後から20週以上あけて1回
ヒブ	生後2～60カ月未満	(初回)生後2～7カ月未満(27日以上あけて3回) (追加)初回後7～13カ月あけて1回
小児肺炎球菌	生後2～60カ月未満	(初回)生後2～7カ月未満(27日以上あけて3回) (追加)生後12～15カ月未満(初回後60日以上あけて1回)
四種混合 (ジフテリア・破傷風・百日咳・ポリオ)	生後3～90カ月未満	(初回)生後3～12カ月未満に20～56日あけて3回 (追加)初回後12～18カ月あけて1回
二種混合 (ジフテリア・破傷風)	11～13歳未満	11歳で1回
BCG	生後5カ月～1歳未満	生後5～8カ月未満に1回
MR混合 (麻しん・風しん)	(1期)生後12～24カ月まで (2期)年長児相当(就学前の1年間)	1期、2期ともに1回
水痘(水ぼうそう)	生後12～36カ月未満 ※すでに罹患済みの場合は対象外	(初回)生後12～15カ月未満に1回 (追加)初回後6～12カ月あけて1回
おたふくかぜ(任意)	1歳以上 ※すでに罹患済みの場合は対象外	1歳以上で1～2回 ※町独自助成により1～3歳までの初回1回のみ無料
日本脳炎	(1期)生後6カ月～7歳6カ月未満 (2期)9～13歳未満 ※特例対象者は20歳未満まで接種可	(1期初回)3歳:6～28日あけて2回 (1期追加)4歳:1期初回終了後約1年あけて1回 (2期)9歳:1回
HPV (ヒトパピローマウイルス) (4価)	小学校6年生～高校1年生相当の女子	中学1年生で3回 (2回目)2カ月以上あけて2回 (3回目)1回目から6カ月以上あけて1回

## 10月の日曜・祝日当番医 診療時間:9時～17時

日程	診療科	病院名	住所(苫小牧市)	電話(0144)
2日	内科系	とまこまいこどもクリニック	住吉町1-2-8	33-1050
(日)	外科系	にしん泌尿器科クリニック	日新町2-6-43	71-1100
9日	内科系	稲岡内科小児科	北光町2-7-10	72-5141
(日)	外科系	同樹会苫小牧病院	新中野町3-9-10	36-1221
10日	内科系	よしだ内科循環器クリニック	木場町2-8-1	33-3855
(月祝)	外科系	とよた腎泌尿器科クリニック	元中野町2-17-12	31-2000
16日	内科系	たかぎ内科・循環器内科	北栄町1-22-33	53-7700
(日)	外科系	苫小牧日翔病院	矢代町2-9-13	72-7000
23日	内科系	たくしん小児科	拓勇西町3-1-1	53-7788
(日)	外科系	光洋いきいきクリニック	光洋町1-16-16	71-2700
30日	内科系	加藤胃腸内科クリニック	緑町2-5-20	35-2125
(日)	外科系	同樹会苫小牧病院	新中野町3-9-10	36-1221

※医療機関が変更になる場合があります。病院や新聞などで事前に確認してください。

## 苫小牧市夜間休日急病センター

夜間・休日は急病センターも診療を受け付けています。

診療科目	内科・小児科
住所	苫小牧市旭町2-9-2
電話	0144-32-0099
	平日 19時～翌朝7時
診療時間	土曜日 14時～翌朝7時
	休日 9時～翌朝7時

## 北海道救急医療・広域災害情報システム

近くの医療機関などが検索できます  
<http://www.qq.pref.hokkaido.jp>  
 ☎0120-20-8699  
 ☎011-221-8699(携帯・PHSから)



# 保健の掲示板 10月



住民課 健康推進グループ ☎26-7871  
(総合ケアセンターゆくり内)

## 健診・検診・相談・教室など

### 歯科健診・フッ素塗布

対象 ①こども園に入園していない1歳から就学前のお子さん(個別にご案内します)  
②都合によりこども園で実施できないお子さん、1歳未満で歯が8本以上生えているお子さん

とき 10月11日(火) 厚南子育て支援センター  
ところ 10月14日(金) 総合ケアセンターゆくり

申し込み 9月27日(火)までに住民課健康推進グループ

持ち物 歯の健康ノート、歯ブラシ、タオル

### 乳幼児相談

対象 生後2カ月～1歳2カ月までのお子さんとその保護者

とき 10月7日(金)9時30分～11時15分(受付)

ところ 厚真子育て支援センター

持ち物 母子手帳、バスタオル

### 献血

総合ケアセンターゆくり 10月7日(金)  
9時30分～11時30分、13時～16時30分

厚南会館 10月17日(月)9時30分～11時

## こころの相談

「気持ちが落ち込む」などのこころの健康や子育ての悩みを抱える親御さんの相談に臨床心理士が応じます。



とき 9月16日(金)、10月21日(金)  
10時～15時(1人あたり50分程度)

ところ 総合ケアセンターゆくり

申し込み 1週間前までにお申し込みください。  
(住民課 健康推進グループ)

## 保健所の相談

問い合わせ 苫小牧保健所 ☎0144-34-4168

相談・検査の名称	日程
女性の健康相談 妊娠、出産、子育てなど女性の心身の相談	10月19日(水)
肝炎ウイルス検査 感染が疑われる方は無料(要事前確認)	10月4日(火)
骨髄バンク登録 登録の基準があります	10月4日(火) 10月18日(火)
HTLV-1抗体検査 検査日の20日前までに予約してください	10月18日(火)
HIV検査(エイズ相談) 無料、匿名検査(要事前確認)	下記に確認
エイズ専用電話 ☎0144-35-7474	

## 新型コロナワクチン

接種対象者が変更になる場合があります。  
最新の内容はホームページをご覧ください。

### 初回接種(1・2回目接種)

対象 接種日時点で5歳以上の町民

### 追加接種(3回目接種)

対象 2回接種を完了した12歳以上の町民

### 追加接種(4回目接種)

3回目接種を完了した次のいずれかの該当者  
①60歳以上の方

対象 ②18歳以上60歳未満の基礎疾患のある方  
③その他重症化リスクが高いと医師が認める方  
④18歳以上60歳未満の医療従事者の方  
⑤18歳以上60歳未満の高齢者施設等の従事者の方

※②～⑤の方で接種を希望される方は、事前に申請が必要となります。申請方法など詳しい内容は、ホームページをご覧ください。

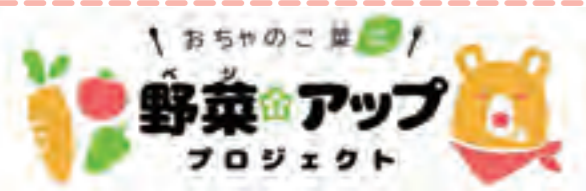
※4回目の接種予約は、接種券到着後にご予約ください。



新型コロナワクチン  
インターネット予約は  
こちらから







目指そう野菜1日350gレシピ

ピリ辛レンチンナス

ナスは体内の余分な塩分を排出してくれる  
カリウムや食物繊維が豊富です



- 材料 (人分)
- ナス 2本
  - ★ごま油 小さじ1
  - ★ポン酢 小さじ2
  - ★豆板醤 小さじ1/4
  - ※辛いのが苦手な方は使用しない
  - 長ネギ 20g

1人分 熱量…41k cal 食塩相当量…0.9g 野菜…130g

- ①ナスはへたをとり、縦に切れ目をいれる。
- ②長ネギはみじん切りにして★とよく混ぜ合わせておく。
- ③耐熱容器にナスを並べ、電子レンジ600ワットで2分加熱する。
- ④③に②をかける。

野菜たっぷり減塩レシピコンテスト

町民の皆さんの野菜摂取量を増やす目的で「野菜たっぷり減塩レシピコンテスト」を実施します。皆さんの応募をお待ちしています。

詳しくは町HPか8月26日発行のチラシをご覧ください



問い合わせ 住民課 健康推進グループ(総合ケアセンターゆくり内) ☎26-7871

発表します! 将来の夢

上厚真小学校6年



かいぬま ゆうだい 海沼 悠大くん

こばやし ひなた 小林 陽葵さん

くどう しんと 工藤 俊人くん

きたじま ちさと 北島 千聖さん

かしわざい やまと 柏木 昊くん

健康情報



担当 管理栄養士 竹田 早苗

今月のテーマ

「令和3年度厚真町食生活実態調査」  
結果から見た食習慣の特徴 ～塩分編～

厚真町では、令和3年度に町内在住の3歳から15歳までの子どもとその保護者を対象に食生活実態調査を実施しました。その結果、「塩分摂取量が多い」「食物繊維が不足している」「菓子や嗜好(しこう)飲料の摂取量が多い」ことが分かりました。また、町の健診結果では高血圧の方の割合も多く、特に塩分の過剰摂取に気をつける必要があります。

**塩分をこりすぎると**  
塩分を過剰摂取すると血圧が上昇し、高血圧を招きます。血管に負担がかかり、動脈硬化、心疾患、脳血管疾患、腎疾患につながります。また、胃がんや食道がんのリスク因子になります。

**塩分目標量**  
1日の塩分目標量は男性は7.5g未満、女性は6.5g未満、高血圧の方は6g未満です。自分は薄味だと思っただけでも、気がつかないうちに多くの塩分をとっています。町民全世代で目標量の2倍も多く塩分を取っていました。塩分は塩、しょうゆなどの調味料だけではありません。

<p>洋食例</p> <p>塩分量 1食あたり 4.1g</p>	<p>コールスローサラダ(キャベツ70g) 減塩対策、マヨネーズと塩を半分にしてレモン汁と黒コショウをまぜる</p> <p>塩分0.6g</p>	<p>ハムエッグ(ハム2枚) 減塩対策、ハムなどの加工品はゆでる</p> <p>塩分1.4g</p>
<p>和食例</p> <p>塩分量 1食あたり 3.2g</p>	<p>バタートースト(6枚切1枚) 減塩対策、ロールパン(2個)の方が塩分は少ない</p> <p>塩分0.9g</p>	<p>コーンスープ(粉末タイプ) 減塩対策、減塩商品を選ぶ</p> <p>塩分1.2g</p>
	<p>きんぴらごぼう(ごぼう60g) 減塩対策、だしを使う ※できれば天然だし ※塩分入りの顆粒だしは避ける</p> <p>塩分0.9g</p>	<p>豚肉の生姜焼き(豚肉90g) 減塩対策、しょうゆを減らして生姜をたっぷり使い、片栗粉でとろみをつける</p> <p>塩分0.9g</p>
	<p>白飯 減塩対策、パンや麺類は塩分が含まれるので主食は白ごはんがおすすめ!</p> <p>塩分0g</p>	<p>なめこのみそ汁(なめこ30g) 減塩対策、みそを減らして牛乳のみそにまぜる</p> <p>塩分1.4g</p>



**減塩するためのコツ**

- ①食べる量・回数を減らす  
加工品(カップ麺、ソーセージ、ベーコンなどの加工肉、かまぼこなどの練り製品)、塩分の多い調味料(マーボー豆腐の素やカレー、めんつゆ、すし酢など)簡便型調味料、漬物(浅漬けやめんつゆ漬けなども含む)は、麺類や煮物など味の濃い料理を食べた日は食べないようにする。
- ②麺類などのスープの汁は残す  
ラーメンやそばなどのスープは飲まずに残すようにしましょう。
- ③食物繊維が豊富な野菜を増やす  
1日350g以上を目標に野菜を食べましょう。余分な塩分の排出を促すカリウムが豊富です。  
※医師の指示がある場合は指示に従いましょう。



実りの秋! 食欲の秋!  
厚真町・秋の4収穫祭

# あつまルシェ

## 10月9日(日)

### こぶしの湯前ひろば

厚真の旬の食材を「見る」「触れる」「味わう」ことで町の魅力を発見・PRする機会を作ることを目的としたイベント「あつまルシェ」を3年ぶりに開催します。

採れたて野菜や、フード、クラフト作品などを販売しませんか?  
出店者を募集中!

問い合わせ・出店申し込み 町観光協会 ☎29-7711

※新型コロナウイルスの感染拡大状況により中止することがあります。

町税・保険料  
今月の納期

科目	国民健康保険料(第2期) 後期高齢者保険料(第2期)
納期	9月30日(金)

問い合わせ  
住民課町民生活グループ ☎26-7871

運転免許証  
更新時講習

10月

苫小牧市交通安全センターで行っている運転免許証更新時講習(優良)の日程をお知らせします。  
この他の講習日程(一般、違反、初回)については、下記までお問い合わせください。

10時30分~11時	4日(火)、6日(木)、12日(水)、13日(木) 18日(火)、19日(水)、20日(木)、25日(火) 26日(水)、27日(木)、31日(月)
13時30分~14時	7日(金)、14日(金)、21日(金)、28日(金)

(一社) 苫小牧地区交通安全協会 ☎0144-33-1458

まちの善意

厚真町社会福祉協議会への寄付

働きたい人のための出張相談会

働きたいと思われている人の就労自立支援施設です。就職相談も歓迎です。「働きたい」を応援する無料出張相談会を開催します。

■対象  
おおむね15歳~49歳のひとと家族

■日時  
9月28日(水) 14時~16時(先着順・予約可)

■場所  
ワークプラザとまこまい(苫小牧市表町5-11-5ふれんどビル3階)

■問い合わせ

巡回行政相談所を開設します

とまこまい若者サポートステーション・とまこまい「サポステ・プラス」(☎0144-84-8670)

総務省では、行政相談制度について広く国民に理解していただくために、秋の行政相談週間(10月17日~23日)を設けています。

行政相談とは、皆さんから国の行政機関や特殊法人(JR、NTT、郵便局など)などに対する苦情や要望などを、行政相談委員が公平な第三者的立場で問題解決のお手伝いをし、行政の改善に役立つ

次の日程で巡回行政相談所を開設します。相談は無料で、秘密は守られます。悩みや苦情を抱えている方は、ご相談ください。

■日時・会場  
10月18日(火)  
▽総合福祉センター 10時~12時  
▽厚南会館 13時30分~15時30分

■相談員  
行政相談委員 當田昭則(本郷・☎27-2020)

■問い合わせ  
総務課総務人事グループ ☎27-2322

子育て支援センター

申し込み・問い合わせ・予約・相談

厚真子育て支援センター ☎27-2438 京町152(こども園つみきに併設)  
厚南子育て支援センター ☎28-3155 上厚真258-7(宮の森こども園に併設)  
※講座などの申し込みは会場となる子育て支援センターまで

# 10月のよてい

子育て講座 デコアルバム講座  
内容: お子さんの写真を素敵に飾りつけしましょう  
日時: 10月5日(水) 10時~11時  
場所: 厚南子育て支援センター  
持ち物: お子さんの写真3~5枚、はさみ、スティックのり(液体不可)  
参加費: 500円(材料費) 定員: 7組  
申し込み: 9月28日(水)まで

子育て講座 おはなしのびっこ&メディアミニ講座  
内容: 絵本の読み聞かせ、メディアに関するミニ講座と相談会  
日時: 10月27日(木) 10時~10時45分  
場所: 厚真子育て支援センター  
定員: 7組  
申し込み: 10月20日(木)まで

Hello えいご・えいごであそぼう 10時~10時30分  
隔月、各センターで、ALTの先生と遊びを通じて英語に触れる事ができます。開催日は情報誌をご覧ください。

・自由開放 ・子育て相談(※要事前連絡)…月曜~金曜日 9時~12時、13時~15時  
・サークル活動(※予約制)…月曜~金曜日 13時~15時

まちのアイドル

さいとう みちるちゃん  
きど そうしろうくん  
ふじた しおりちゃん

3歳以下のお子さんの写真を募集しています。住所、氏名(ふりがな)、生年月日、性別、両親の氏名(ふりがな)、電話番号を明記の上、まちづくり推進課企画調整グループへ。〈メール〉kikaku@town.atsuma.lg.jp

こぶしの湯あつま イベントカレンダー 10月

問い合わせ こぶしの湯あつま ☎26-7126

日	月	火	水	木	金	土
						1
2 [3倍]	3	4	5	6 [3倍]	7	8
ちびっこ	シルバー	メンズ	高齢者券	レディース		
9	10	11	12 [3倍]	13	14 [2倍]	15
ちびっこ	シルバー	メンズ	高齢者券	レディース		
16 [3倍]	17	18	19	20	21	22 [3倍]
ちびっこ	シルバー	メンズ	高齢者券	レディース		
23	24	25	26	27	28	29
ちびっこ	シルバー	休館	休館	レディース	町民	
30	31					
ちびっこ	シルバー					

毎週日曜▷ちびっこデー:小学生はサービス券2枚  
毎週月曜▷シルバーデー:65歳以上はあつまるカードポイント3倍  
毎週火曜▷メンズデー:男性はサービス券2枚  
毎週水曜▷高齢者無料入浴券の日:町交付の無料入浴券ご利用でヘルシーセットが750円→550円  
毎週木曜▷レディースデー:女性はサービス券2枚  
最終金曜▷町民の日:誕生月の町民はレストラン利用で入浴無料  
毎月26日▷風呂の日:あつまるカードポイント3倍、サービス券2枚

・2と6のつく日はあつまるカードポイント3倍  
・5のつく日は町交付の無料券利用であつまるカードポイント5倍

※イベントは予告なく、変更となる場合がございます。





親子三代目の漁師  
にしだて たつや  
西舘 龍哉さん  
Vol.29

がっちりした体形で温和な顔立ち。輝く瞳の奥に意気込みが宿っていました。鶴川漁協の厚真支所に所属する西舘さんは、親子三代目の漁師。祖父や父の背中を見て経験を積み、一人前の漁師を目指しています。「実は、時々船酔いするんです」と意外な一面もチラリ。帰港した浜厚真漁港で、西舘さんに話を聞きました。

## “ 厚真の海を守り父に追いつく ”

上厚真小、厚南中学校から厚真高校に進み、卒業と同時に漁師になりました。父・純さんの存在が、家業を継ぐ決め手でした。「初めて船に乗って手伝ったのが、中学2年生です。沖合に仕掛けたタコ箱の回収作業でした。海底から手繰り上げるのですが、重たくて…。重労働で大変だなとは思いましたが、力仕事であれば僕にもできる。巴厘ボール大ほどのタコを引き上げた時のうれしさは、今も覚えています」。時間を見つけては船に乗ることが生活の一部になり、自然に漁師の道に進みました。

吸収するためです。「船を操りながら、動きが無駄が無いんですよ。素直にすごいなって思いますが。まだまだ覚えることはたくさんあり、目の前の父が私の教科書です」。

海の環境を守るため、年に1度、幌内地区で行われる植樹に参加しています。「今はまだ、私には分かりませんが、豊富なミネラルが川から海に注ぐことで、漁場が良くなると聞きました」。積極的に参加し、良好な漁場づくりに汗を流します。

頼もしい父と優しい母、気にした双子の弟で、時々、パーベキューをします。笑顔に包まれた癒しの時間です。父からは「まだ、漁師半人前だけど、思った以上に働いてくれている。身の危険だけは、気を付けて欲しいな」と優しい言葉も添えられます。

大海原に誓いました。「豊かな海を守り、父に追いつく」。それが今の目標です。

厚真で暮らす人、働く人、応援してくれる人、訪れる人・・・  
みんな、みんな、**ATSUMA LOVERS**